

大野城市公共サービスDOCK事業（第6回）会議録

- 日 時 平成21年1月30日(金) 午後2時～
- 場 所 大野城市役所本館4階全員協議会室
- 出席者 委 員：5名 佐々木副委員長、斧田委員、中田委員、岩永委員、
松本委員
- 事務局：8名 藤田企画政策部長、藤野財政課長、毛利企画調整係長、堀
行政経営係長、三池IT政策係長、辻塚財政係長、原田、
橋元

1. 開 会（あいさつ）

○藤田企画政策部長

- ・ 今年、初めての委員会でございますが、今年もよろしくお願ひいたします。
- ・ 今、景気の急激な悪化、国の国会等々の混迷で世の中が不安になっていく状況ですが、我々は市民の方にやるべきことを肅々とやることだろうと思っております。
- ・ 今日、市役所DOCK事業の中で、①フルコスト計算書診断（業務の棚卸し）、②民活のあり方診断（業務の仕分け）、③業務システムの最適化診断（業務改善）、今日の本題であります④初期診断（新規事業のチェック）をお願いしたいと思っております。
- ・ では、担当からご説明させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

2. 委員会の進行について

○橋元行政経営担当

- ・ それでは、本日の委員会の進行についてご説明申し上げます。
- ・ 初期診断ヒアリングのスケジュールについては、企画調整担当よりご説明いたします。
- ・ 初期診断ヒアリングのポイントについては、佐々木副委員長よりご説明いただきます。
- ・ 次に公共サービス改革委員による意見交換を行いたいと考えております。
- ・ なお、終了後に事務連絡がありますので、よろしくお願ひします。

3. 初期診断について

○原田企画調整担当

- ・ それでは、初期診断ヒアリングの概要スケジュールについてご説明します。
- ・ 初期診断は、2月3日～6日の4日間で実施します。日程の割振り等につきましては、

事前に調整させていただきました委員の皆様方のスケジュールを基に決定しています。

- ・ なお、事業の割振りにつきましては、各担当課と調整して決定しています。
- ・ ヒアリングに対する委員の皆様の見書提出は、2月13日までとさせていただきます。提出方法については、持参、郵送、電子メール等で提出をお願いいたします。
- ・ 初期診断の診断結果については、2月27日の第7回公共サービス改革委員会へ報告させていただきます、ご意見等がなければ、3月に診断結果をホームページで公開する予定にしています。
- ・ ヒアリング時間については、1事業あたり約45分を予定しています。開始時間は午前の部は朝9時から、午後の部は1時半から、概ね3～4事業行います。会場は、2月3日～5日までは本館4階全員協議会室で、6日は新館4階422会議室で行います。
- ・ 次に、本日配布の資料についてご説明いたします。
- ・ 質疑通告書は、本年度初期診断を行うすべての事業（26事業）を添付しています。質疑通告書に対する回答書については、現在各所管課にて作成中ですので、ヒアリング当日に配布いたします。
- ・ 実施計画シート兼初期診断書については、委員の皆様方にヒアリングに対する意見を記入していただく欄を用意しておりますので、よろしくお願いたします。
- ・ ヒアリングの実施手法の詳細及び診断結果の反映等については、佐々木副委員長よりご説明いたします。

○佐々木副委員長

- ・ それでは、配布しております資料の活用方法についてご説明します。
- ・ 事業所管課が作成した実施計画シート兼初期診断書の記載内容を事前に確認し、不明な点や不備な点に対する質問をまとめたものが質疑通告書となっています。
- ・ 初期診断は、市として政策的に是非推進していこうと考えるものや、新しい地域の課題、住民のニーズに対応していくために積極的に進めていかなければならないのではないかと考える事業の診断となります。
- ・ よって、市が当初想定していたニーズや、実施に際して計画を立てていた成果や効果が本当に上がっているのか、住民からのニーズが本当にあったのかどうか、診断の際に一番確認したい重要なポイントになります。
- ・ 事業の成果、効果、市民のニーズを考える上で、その前提として、そもそも何を目的にしているのかということが明確でないと、事業によって産出された成果、効果が正しいのかどうか、市として本当に実施して良い事業なのかということが不明確になってしまいます。
- ・ よって質疑通告書では、事業の目的を明確にして、この事業によって市は何を達成したいのかを問いかけています。

- ・ 次に、実施計画シート兼初期診断書の診断ポイントについてご説明します。
- ・ 事業の内容について、事業の目的と事業の内容が、目的を達成するためにこの事業内容で進めていくことで、具体的にどのような成果が見込まれるのかが説明不足である場合は、記載するよう指導します。
- ・ 成果指標は、事業成果を表す指標として適正かどうかをチェックします。
- ・ 事務事業の活動成果データの具体的な数値については、平成19年度のみが実際の数値でそれ以外のものは計画値となっています。
- ・ 建設事業の診断の主な目的は、事業の進捗状況の確認（当初計画どおりに事業が進捗しているかどうか、進捗していない場合の問題点・課題は何か、等）と、供用開始後（事業終了後）に予定している成果・効果の把握です。
- ・ 目的が明確かどうか。目的達成のために必要な事業なのかどうか。この事業は何を対象としているのか。手段と成果が目的とどのように対応しているのか。この事業が計画どおりに進捗しているのか、その状況が判断できるような内容になっているのかをチェックします。
- ・ 質疑通告回答書は、事業所管課が何を訴えたいのかを見ていただければと思います。
- ・ 以上で説明を終わります。

【質疑応答】

○斧田委員

- ・ 実施計画シート兼初期診断書の事務事業コストデータの見方ですが、平成20年度以降の直接事業費実施計画額はすべて計画額ですか？また、平成19年度以前の終了した年度は、予算額ですか、それとも決算額ですか？

○原田企画調整担当

- ・ 実施計画シート兼初期診断書に記載している金額は、すべて計画額です。
- ・ 現在導入している財務会計システムは、予算・決算・実施計画・フルコストすべてを連動しているのですが、最終段階の予算・決算データとのリンクが完成していない状況です。本来であれば、平成19年度の決算データを実施計画シート兼初期診断書に反映するのですが、今回は黒塗りにしています。ただ、質疑通告書の中で指摘があったものについては、事業所管課が決算データを入力しています。

○橋元行政経営担当

- ・ 平成20年度予算は平成19年秋に編成するのですが、平成20年度予算入力より現行の財務会計システムに移行していますので、来年度（平成20年度決算データ）からは自動入力されます。

○斧田委員

- ・ 例えば、用地買収等があまり進捗していない場合、平成19年度のコストがあまり掛かっていないというようなこともあるのですか。

○毛利企画調整係長

- ・ 用地購入が当初計画どおりできなかった場合、執行残という形で出てくるようになります。

○斧田委員

- ・ 過年度分については、実際の活動実績（決算に基づくフルコストデータ）が入るのですが、今年度の実施計画シート兼初期診断書にはまだ反映されていないということですね。

○毛利企画調整係長

- ・ そうです。しかしながら来年度からは、反映することになります。

○原田企画調整担当

- ・ 補足ですが、例えば事業実施期間が平成16年度から平成29年度となっている場合、平成16年度から事業開始されているという意味ですが、過年度の事業費については、平成16年度から平成19年度までの合算が計上されています。つまり、過年度の事業費を正確に記載するためには、平成16年度から平成19年度までの4年分のデータを入力する必要があります。よって、現在所管課に対し、過年度分のデータをすべて一括して入力するよう指示しています。

○斧田委員

- ・ 事業内容についても、4年分の活動を記載しているのですか。

○毛利企画調整係長

- ・ そうです。

○橋元行政経営担当

- ・ フルコスト計算書は経常事業なので単年度ですが、初期診断のような実施計画事業は、複数年に跨る投資的事業なので、企業会計のように事業トータルで評価しないといけないと考えています。初期診断は導入したばかりなので、評価方法については試行錯誤しながら、検討を重ねていきたいと思っています。

4. 事務連絡

○橋元行政経営担当

- ・ それでは事務局により事務連絡をさせていただきます。
- ・ ヒアリングについては、来週（2月3日～6日）を予定しております。
- ・ ヒアリング終了後、委員の皆様のご意見をまとめまして、佐々木副委員長に診断結果を今月末までに仕上げてください、2月27日の公共サービス改革委員会で委員の皆様方に報告したいと思っております。
- ・ 本年度の公共サービス改革委員会につきましては、次回で終了させていただきたいと思っております。来年度以降のスケジュールにつきましては、来年度4月早々に計画等をご報告できるよう考えておりますのでよろしく願います。

5. 閉 会

○毛利企画調整係長

- ・ お疲れ様でございました。ご承知のように大野城市は市役所DOCK事業ということで、多面的な評価をさせていただいております。
- ・ 今回、初めて初期診断ということで、実施計画事業を対象といたしました診断を委員の皆様方をお願いいたしますが、これでフルコスト計算書診断と併せまして、ほぼ大野城市の事務事業をもれなく診断していただくということになります。
- ・ 初めてのことでございますので、シート等の情報が不足することがあるかと思えます。そこはヒアリング等で是非指摘していただきまして、初期診断の目標であります、市民満足度の視点から委員の皆様方からご意見をいただければと思います。来週からご足労をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。